

保護者等向け 児童発達支援事業所における自己評価表

公表:令和2年1月30日

事業署名:東金市簡易マザーズホーム

保護者等数(児童数):39名 回収数:27枚 割合:69.2%

		チェック項目				ご意見		ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	26	2					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	25	1	1		・足りない日もあるけど多い日もある。先生たちの専門が○ ○ですと言われても困っていることがどの先生の専門かがわかりづらいかも。 ・どの職員も親身になってくれて子供の成長に気づいてくれる。 ・利用人数の少ないときは良いのですが、多い日はもう少し人手が…。	・摂食、ことば、理学療法、心理は非常勤の先生が専門指導をします。お子さんの発達全般については保育士が対応と助言をしています。 ・原則4～5名の職員体制をとっています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	21	4	1	2	車いす利用のママ達がどんな設備が必要で不便のこともあるような気がします。	・利用者の方に不便なことがないか再確認して対応します。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	25	2			・雨の日は暗く感じる時がある。(電気) ・施設の電気がきれている所があり時々暗いと感じる時があります。 ・お手洗いのせっけんはできたら泡にしていたきたい…。不器用な息子はうまく泡立てられず、いつもちゃんと洗えているか心配で。		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか。	25	2		1	計画の課題例の様なものがよくわからないのでいくつか選択肢があればありがたいです。		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	3		3			
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	25	3			正直もう少し欲しい。		
	⑧	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか。	21	6		1	・もう少し活動に幅があると良い。校外学習ももう少しあっても良いのでは。 ・自由遊びの時間をもう少し活動の時間に回してほしい。テラスの立派なトランポリンをもっと利用できたら良いのに。 ・いつも同じ活動が多いので、たまには外でお弁当を食べる(公園などでも良いし、テラスでレジャーシートなんかでも充分)。中 or 外選べるとか…。たまには違うこともしてほしい。		

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	17	4	2	6	うちは保育園に行っているのですが機会があるが、ここだけの子は無いかも。	公開おもちゃライブラリーのときは外部の方も参加するので、交流の機会として利用していただきたい。
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	26	2				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	26	1		1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか。	17	4		6	1時間でもいいので単独で保育していると自立しやすい。(その子やその場合によりますが)	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	24	4				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	26	1		1	先生たちの雰囲気はとても良いです。一人でいても何気ない会話から話を引き出してくれ、とても親身に聞いてくれていると感じます。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	22	4		2		
保護者への説明等	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	23	2		4	・子供のささいな言動も見逃さず声をかけて下さいます。又、親への声掛け不安要素に耳を傾けて下さり育児・生活の不安・ストレス等軽減され、子供との接し方が家族で変わってきたと思います。 ・お子さんの事をよく見てくれ、その子のそれぞれの特性などを教えてくれアドバイスももらって感謝しています。時には涙も出ます。 ・常に先生がついていてくれるので話しやすいです。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	26	1		1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	21	2		4		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	21	2		4	取扱いはわからないが、個人情報オープンにはならない。	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	17	2		6		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	20	2		4		

満足度	⑳	子どもは通所を楽しみにしているか。	23	2			
	㉑	事業所の支援に満足しているか。	24	1			朝の集まりが前でやっていることが遠すぎて子供が見えていないような気がする。

(注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。